

県民まちなみ緑化事業（第2期）評価・検証 概要（案）

趣旨・実績

趣 旨

- 兵庫県では、都市における環境の改善や防災性の向上などを目的とし、県民緑税を活用し、県民による植樹や芝生化などの緑化活動を支援する県民まちなみ緑化事業を実施している。
- 当事業の財源である県民緑税は5年間の時限的措置で、現課税期間（第2期：H23～27）が平成27年度で最終年度を迎えることから、第2期事業の効果を明確に分かりやすく示せるよう、評価・検証を行う。

事業実績（H25年度末時点）

	第1期計 (H18～22)	第2期 (H23～27)				第2期 計画	合計
		H23	H24	H25	小計		
事業費(百万円)	2,628	212	316	510	1,038	3,200	3,667
件数(件)	945	91	144	216	451	—	1,396
緑化面積(ha)	61	7	11	16	34	60	95

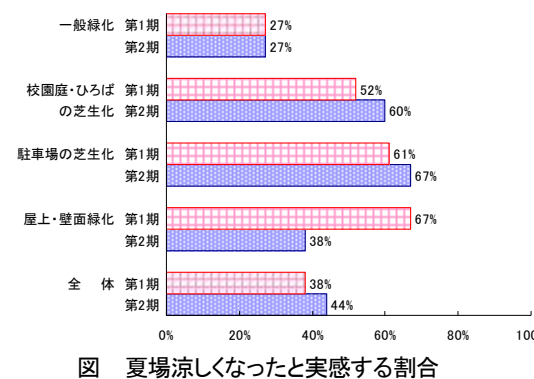
・第2期では、原則として施工費の自己負担を求めたことなどにより、H23年度は事業費、件数ともに第1期に比べ大幅に減少
 ・しかし、対象地域拡大等の制度改正や積極的なPR活動等により、H25年度は第1期程度の実績に回復した。
 ・今後、同様のペースで申請が想定されるため、第2期計画目標である緑化面積60haを達成できそうな見込みである。

緑が本来持つ公益的な効果

存在効果 — 緑が存在することにより生じる効果 —

1. 環境効果

- 地表面温度の低下（サーモグラフィ調査 平成21年9月）
 - ・校庭芝生化-5℃、駐車場芝生化-10℃、屋上緑化-30℃
- 涼しさの実感（アンケート調査）
 - ・夏場涼しくなったと実感する割合：第1期38%、第2期44%
 - 〔事業実施者に「緑化によりどのような効果があったか」と質問し、涼しさの実感と回答した割合（選択肢からの複数回答方式）〕
- 二酸化炭素低減効果（事業実績より推計）
 - ・二酸化炭素吸収増加量：第1期420トン/年、第2期310トン/年
- 防塵効果、交通騒音低減効果等



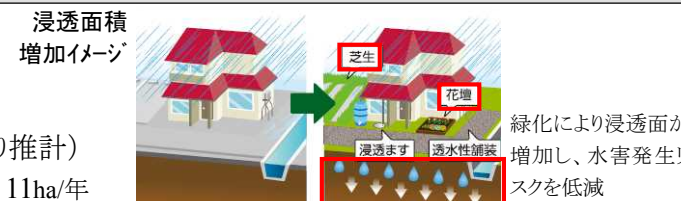
2. 景観効果

- 景観向上効果
 - ・景観向上を実感する割合（アンケート調査）：第1期77%、第2期81%
 - 〔事業実施者に「緑化によりどのような効果があったか」と質問し、景観向上の実感と回答した割合（選択肢からの複数回答方式）〕
- 緑視率を用いて効果を検証



3. 防災効果

- 樹木による延焼防止効果
- 建物倒壊防止・落下物飛散防止効果
- 都市での水害発生リスク低減効果（事業実績より推計）
 - ・雨水浸透面積の増加：第1期11ha/年、第2期11ha/年



利用効果 — 緑を利用することにより生じる効果 —

1. 心身発育効果（校庭・ひろばの芝生化）

- 外で遊ぶ児童、園児が増加したと実感する割合：40%（アンケート調査）
- 擦り傷などの怪我が減少したと実感する割合：62%（アンケート調査）
 - 〔事業実施者に「芝生化により子どもたちにどのような効果があったか」と質問し、外遊びの増加、怪我の減少と回答した割合（選択肢からの複数回答方式）〕
- 運動能力向上



2. コミュニティ形成効果、心理的効果

- 緑化箇所の利用や緑化活動を通じた地域住民間の交流機会増加
- 緑化箇所の余暇活動利用によるレクリエーション効果（花見、スポーツなど）
- 緑化箇所の利用によるリラクゼーション効果（病院屋上緑化箇所でのリハビリなど）



県民まちなみ緑化事業が新たに創出した効果

媒介効果 — 事業を媒介することにより創出される効果 —

1. プロジェクト実現への貢献

公共団体等が実施するプロジェクトを支援することにより、当事業がプロジェクトの実現に貢献している。

実施例① | 「霧島の宮」復活プロジェクト(西宮市)

- 日野神社社叢は県指定天然記念物に指定され、かつてはクリスマスツジが多く植栽され「霧島の宮」と呼ばれていた。
- しかし、現在、それらが1本もなくなってしまったため、当事業でクリスマスツジ約1,200本の植栽を行い、「霧島の宮」復活への取組を支援した。



日野神社社叢



植栽直後のクリスマスツジ

実施例② | 全校芝生化プロジェクト(豊岡市)

- 豊岡市では、子どもたちの心身の発育向上、環境に優しい学校づくり等を目指し、市立の全保育所、幼稚園、小学校の芝生化に取り組んでいる。
- 平成21～25年度に豊岡市が実施した41校園の芝生化すべてに、当事業の補助が活用され、全校芝生化への取組を支援した。



豊岡市内の小学校校庭の様子



他にも龍野公園の桜並木を守り継ぐ取組(たつの市)や芦屋市花「コバノミツバツツジ」の植栽活動(芦屋市)などにも活用され、各地域におけるプロジェクトを支援している。

2. 観光・商業振興(他分野への波及効果)

緑化により附加価値が創出され、観光客・来客が増加し、観光や商業の振興に貢献している。
 (ヒアリング調査などを実施予定)

実施例 | ピオレ姫路(姫路市)

- JR姫路駅高架化等による開発プロジェクトとして、ピオレ姫路(新駅ビル)が建設され、平成25年4月にオープンした。
- 姫路城を眺望できる屋上広場に、当事業を用いた緑化を行ったことにより、観光客等の来場に一定程度、寄与しているものと考えられる。



ピオレ姫路外観



屋上芝生広場

他にもハーバーランド煉瓦倉庫、ホテルオークラ、大丸神戸店(いずれも神戸市中央区)などの集客施設でも当事業による緑化が実施され、同様の効果を発揮している。

3. その他

(今後、ヒアリング調査等を実施)

- 新たな緑化スペースの創出
(従来、緑化スペースでない箇所への緑化)
- 緑化における新たな市場、顧客の創出
(補助金がインセンティブとなり行われた緑化)

評価・検証の概要

